

ぷりゅめ〜る15

2006,5月

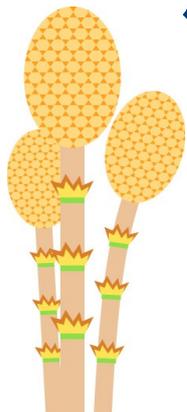
〒661-0033 尼崎市南武庫之荘10丁目11番15号

特定非営利活動法人 地域共生スペース ぷりゅば

電話(06)6433-3256 FAX(06)6433-3320

Email:puripa@nifty.com

HP:<http://hccweb1.bai.ne.jp/~hdge1101/>



自立支援法スタートしました

“制度”になんか振り回されずに！！

皆さんもうご存知の通り、障害者自立支援法がいよいよ始まりました。4月以降みなさんの利用されているサービスに定率1割の負担が発生しています。

身体介護・外出介護（身体介護伴う）、家事援助・外出介護（身体介護伴わない）、日常生活支援それぞれサービス単価があり、自己負担額も異なってきます。例えば・・・

外出介護（身体介護伴う）	10：00～16：00	6時間ご利用の場合、自己負担額	1397円
身体介護	17：00～18：00	一人介護の場合、自己負担額	423円
		（二人介護の場合、その倍の846円）	

また、時間帯によりサービス単価が異なる場合があります。詳しい負担額については、「利用時間別利用者負担額早見表」を同封しますので、ぜひご覧になり、参考にして下さい。

<負担額の上限管理は・・・>

世帯の収入等に応じて負担額には上限が設けられます。幾種類かのサービス利用や、複数事業所のサービス提供を受けている方は「負担額の上限管理」を行う必要があります。

管理は社会福祉法人軽減制度対象となられる方（ご利用の社会福祉法人に軽減制度を実施しているかご確認ください）は、その社会福祉法人の事業者が、それ以外の方は、利用者さんが任意の事業所に依頼することとなっています。ただし、各市町村によってまちまちですので、お住まいの市町村窓口にご確認ください。（西宮の場合、9月までは利用者さんが上限管理者となります）

<現状からの後退はないと国は言っていたはず・・・>

障害者自立支援法は10月に本格的にスタートします。今後「障害程度区分認定調査」が開始され、順次「審査会」が開かれ、それぞれの利用者さんの区分が決定されます。それに伴い個別給付（介護給付）の利用量などが変わります。また、現状の「外出介護」（移動介護）は、市町村事業に移行します。しかし、その中身（どれくらい利用できるのか・利用者さんの負担・単価など）は全く見えていません。今より後退する事が無い様にしっかりと訴えていかなければなりません。<いまこそ地域に根をはる「ぷりゅば」のがんばりどき！>

このような大きな流れの中、「ぷりゅば」はあらためてしょうがいをお持ちの方の地域生活のあり方を考え、「これまでと変わらない、それ以上に豊かな生活」を目指し、バックアップしていきたいと思えます。また問題点や改善点については行政や外部へと訴えかけていきたいと思えます。

制度がどう変わろうと、生活も人生も毎日繰り返され、続いていきます。制度をしっかり押さえつつも、視点は常に目の前の利用者さん、そしてその人の生活そのもの、人生そのものからずれないようにしていきたいものです。

◆ぷりぱ5周年イベント『ありがとう、ありがとう～いつまでも～』の報告◆

昨年12月18日砂子療育園さんの1F地域交流スペースをお借りし、ぷりぱ5周年イベント『ありがとう、ありがとう～いつまでも～』を開催させていただきました。前日深夜には雪も降り当日は寒い日となりましたが、こちらの予想をはるかに上回る約160名の方が参加してくださり、大盛況の内に終わることができました。

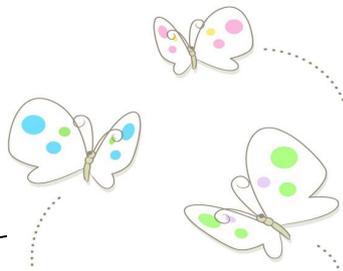
1部は村内歯科の村内光一先生に『摂食嚥下のメカニズム』『障害の人たちと関わって経験してきたこと』を講演していただきました。実際にクッキー、お茶を使つての実習はとてもわかりやすく、楽しく勉強することができました。また、VTRの中に顔なじみの皆さんが登場され、治療や関わりの様子を見せていただきながら、胸が熱くなったり、また、関わり方に対してのアドバイスをいただいたようで、自分たちの姿勢をとらえかえす勉強になりました。



2部は音楽の集いと題していろんなミュージシャンの方々をお招きしミニライブコンサート。「福成会BUN-JAWS」さんはとても迫力のある音と声でバンド演奏をしてくださいました。「あぜくら作業所太鼓メンバー」さんは心地よいどっしりとした太鼓演奏で盛り上げてくださいました。とりは「りんりん」さんのちんどんや。懐かしいようなメロディーに乗せ、笑いとお温かい空間を作ってくださいました。ジャンルも個性もいろいろ、しょうがい当事者を中心とした皆さんのすばらしい演奏はとても感動的でした。

最後に、「あぜくら」さん、「カトレア」さん、「つみき」さん、福成会の仲間の皆さんが、お忙しい中、作品や製品を一つ一つお土産パックにしてくださり、当日ご参加くださった皆さんにお土産としてお持ち帰りいただきました。このイベントは、ぷりぱが皆さまからのご支援・ご指導をいただきながら、5周年を迎えることができたことへのご恩や感謝の気持ちを少しでもお返しできれば、ということで企画しました。そんな中たくさんの方々から『参加させてもらうわ』『クッキー作ろうか?』『何か手伝うことない?声かけてな』『顔だけでも出しに行くわ』『行けないけど頑張ってるね』等々、声をかけ支えていただきました。お花などなど、たくさんのご寄付もいただきました。ここにあらためて御礼申し上げます。

ぷりぱを支えてくださった皆さんにお返しのもりでしたが、振り返ると、ぷりぱを愛し、ご利用くださっている利用者の皆さんやご家族、今回のイベントに参加くださった皆さん、出演してくださった皆さん、素敵なスペースや設備を提供してくださったりお手伝いしてくださった皆さん、ともに地域で活動する事業所の仲間の皆さんに、さまざまな形で支え、つくっていただいた5周年イベントでした。行き届かないことも多く、ご迷惑をおかけするなど反省点もたくさん残りましたが、皆さんに支えられているからこそ頑張れるということに感謝して今後も誠実にがんばっていこう!とぷりぱ一同、心に誓いました。本当にありがとうございました。感謝!!



ぷりぱに新車が来ましたよー

4月より新車、3代目ぷりぱ号となる三菱タウンボックスがきました。

軽自動車ですが車椅子の横に補助席があり、今までのぷりぱの車にはなかった「車椅子でのっても4人乗れる」軽自動車です。よろしくおねがいします。

これまでご利用いただきました2代目ぷりぱ号のスズキエブリーは引退となります。今までかわいがっていただきまして、ありがとうございました。



トリコロールコレクション開催！！

3月21日火曜日、西宮の酒蔵通り煉瓦館で「トリコロールコレクション」が開催されました。

このイベントでは、「ヘアスタイルショーを通じてノーマライゼーション！！」ということで、しょうがいをお持ちの方によるヘアスタイルショー&トーク セッションを行ないました。当日は大盛況！！プロの美容師、音響・映像や神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科の方々などが協力して下さい、本当のファッションショー顔負けの盛り上がりでした！西宮の身体・知的・精神しょうがいをお持ちの本人さんを支援する「平均年齢28歳の福祉未熟者」が、自らの専門領域を超え『トリコロール』という団体を結成し、「制度が変わっても、みんなは元気にやっ

ていくんだ！」という思いを、イベントという形で表現してみようというのが始まりのきっかけでした。ぶりばも微力ながら協賛という形で協力させていただきました。たとえば、障害のある人が美容院で髪を切る。そこにある不安や戸惑いがなくなれば、おしゃれがもっと楽しく身近になるにちがいない。だれもが地域で安心して自分らしく、いきいきと暮らせるまちづくりについて、日常の人と人とのつながりの中から考えてみよう。

参加された方々が、それぞれの感覚でそんなことを考える良いきっかけが作れたすてきなイベントでした。

トリコロールコレクションにモデルとして参加して

田口真弓 (母 記)

ファッションショーのようなヘアスタイルショーに真弓も出るというお話をいただきました。どんな服が着たいのか？どんなヘアスタイルにしたいのか？まず、本を見ながら考えました。「エビちゃんみたいになりたい」「ピンクの服が着たい」楽しそうに伝えてくれました。(トリコロールコレクション、ヘアスタイルショーを通じてノーマライゼーション！) 2月27日月曜日午後7時からトリコロールコレクションの打ち合わせに参加しました。神戸芸術大学の先生や学生さんが服を持ってきて合わせてくれました。「ジーンズが着たい」「ピンクの服も着たい」ますます期待が高まってきたようでした。3月15日水曜日、当日真弓の担当になるジェイム美容室にしゃあどんのスタッフと、のまねっとのスタッフと母と一緒に行きました。「エビちゃんみたいにしてください」カリスマモデルのエビちゃんみたいになりたい真弓は朝から体に力が入っており、張り切っていました。到着すると、ドキドキしてめっちゃ緊張！なれない質問になんて答えたらいいのかわからず？普通に美容室で交わされる会話は、真弓にとって聞きなれない言葉でした。「かわいくして下さい」と笑顔で伝えました。車椅子に座って長時間カットと毛染め、シャンプー一台での洗髪。いろいろな初体験をしてエビちゃんみたいになったと満足な様子でした。でも一番大変なのは、美容師さんだっと思います。真弓に合わせていろいろ工夫して下さいました。例えば長時間になるとしんどいので、染める液を濃くしたり、座位の取れない体に合わせた特殊な車椅子のままカットして下さいました。またシャンプーするときも椅子を工夫して下さいました。「どんなに障害が重くても自分らしく生き生きと暮らしたい」多くの人に支えられていただきながら今の生活があります。皆さんに感謝しています。3月17日金曜日、気に入った服をようやく買えました。この前から、芦屋に行ったときなどに服が買いたいと強く思っていて、なかなか買えないので怒っていました。エビスタで買ってとっても嬉しそう。気に入った服をショーのときに着ようと思っていたそうで、どうしてもほしかった、と目を輝かせていました。やっぱりピンク！3月20日月曜日、午後6時集合でリハーサル。青葉園からは午前中で帰ってきて、夜に備えて体力のない真弓は体を休めました。リハーサルの時には、もうニコニコ！好きな服を着てみんなに注目されること、「かわいいね」といってもらうことが楽しいと伝えてくれました。3月21日火曜日よいよ本番です。午前11時集合。やることがいっぱいあってなかなか忙しいようです。着替え・お化粧品・整髪。お昼ごはんはリハーサル中に注入。エビちゃんのような髪型には、髪の毛が顔に触れるとかゆくなるのであきらめました。専門の方のお化粧品もあり、びっくりするくらいきれいにしてもらいました。午後2時から4時までの本番はあっという間に終わってしまったけど、いい笑顔でした。真弓の満足そうな顔を見て、母はじーんとききました。ショーをするためにこんなに多くの方々に関わって下さり大変なこともたくさんあったと思います。おかげで真弓は期待に胸を膨らませて大いに楽しみ興奮して元気を貰いました。ありがとうございました。

次ページ写真あります→



3/21 ヘアスタイルショーにて

◆活動紹介 (お出かけのほんの、ほんの一部)



貝類館に行ってきました!



春の定番!大阪城でのお花見で~す

*お出かけの写真は他にもたくさんあります。ご希望の方はどうぞ。メールで送ることもできます。
写真の場合は、プリント代をいただきます。ごめんなさい。

◆ 障害者自立支援法の学習会~パート2~

公開ラウンドテーブル

日時・2006年5月17日(水曜日) 18:30~20:40 (受付 18:00~)
場所・フェスタ立花南館尼崎市立すこやかプラザ5階多目的ホール
参加費・300円。(資料のみは、100円)

主催・尼崎の地域生活を考えるネットワーク
共催・生活の場サポートセンターひょうご



*今回は特に10月からの自立支援法新体系の中で、居宅サービスからはずれ、市町村事業に移行するサービス(外出介護など)を中心に今後どうなるのか?どうしていくべきか?などなど、パネリストだけでなく、会場にご参加の皆さんで意見交換ができるような学習会にしたいと思います。皆さん、ご参加ください。なお詳しい内容等につきましてはお問い合わせください。

取扱い団体 NPO 法人地域共生スペースぷりぽ TEL 06-6433-3256・FAX 06-6433-3320